

船舶事故調査報告書

平成29年11月15日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年7月23日 13時00分ごろ
発生場所	神奈川県平塚市馬入橋南方（相模川） 中島四等三角点から真方位305° 1,000m付近 （概位 北緯35° 19.9′ 東経139° 22.1′）
事故の概要	水上オートバイ ^{はしもと} 橋本は、北進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年7月24日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	水上オートバイ 橋本、0.1トン
船舶番号、船舶所有者等	232-43811 神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型
負傷者	軽傷 2人（船長及び同乗者）
損傷	船底部外板に亀裂を伴う擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南西、風力 5、視界 良好 水象：波高 約1m
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、相模川河口から相模川上流に向け、時速約40～60 km/hの対地速力で北進中、馬入橋南方の浅瀬（岩）に乗り揚げて横倒しになった。</p> <p>船長及び同乗者は、本船が横倒しになった際、左足に擦り傷等を負った。</p> <p>船長は、馬入橋付近を何度も航行していたので、浅瀬の存在を知っており、ふだんは付近に点在する水面上の岩を見て浅瀬を避けていたが、本事故時、天気が気になって空を見上げていたところ、衝撃を感じた。</p>
分析	本船は、時速約40～60 km/hの対地速力で相模川を北進中、船長が、天気が気になって空を見上げ、船首方の見張りを適切に行っていなかったことから、馬入橋南方に点在する水面上の岩に気付かずに航行し、同岩付近の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、時速約40～60 km/hの対地速力で相模川を北進中、船長が、船首方の見張りを適切に行っていなかったため、馬入橋南方に点在する水面上の岩に気付かずに航行し、同岩付近の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常時適切な見張りを行うこと。